

# ゆりの風

R6.9.4 #1



## 「成長」 ～小学部1年生！～

早いもので2学期になりました。令和6年度がスタートし、上半期も後半です。本ホームページ「校長室から」等にもあるように、この5か月の間に児童生徒（子ども達）はたくさんのごことにチャレンジし、大きな成長が見られています。

とりわけ小学部1年生の3名は、「初めての学校生活」に戸惑いや緊張の日も多かったに違いありません。同時に、初めて見たり聞いたり、体験したりすることに目を輝かせて様々な活動に挑戦してきたことでしょう。

Aさん～初めての給食・元々食べられる物が少なかったAさんですが、今ではいろいろな食材に興味を示し、食べられる物が増えてきました。1学期のある日の給食、「鯖の味噌煮」がメニューに並びました。チョンチョンと箸先で感触を確かめ、その後ゆっくりと魚を口に運んだAさん。お母さんからは、「生まれて初めてお魚を食べました。」とうれしそうに教えていただきました。「初めてできたこと」を忘れずにいたいものだな、と思いました。

Bさん～1学期のある日の下校時、スクールバスの前で「バスに乗る」と大泣きをしていました。普段は放課後等デイサービスを利用するため、バスには乗りません。よくよく聞いてみると、この日（初）校外学習の事前学習を行い、スクールバスで出かけることを勉強したとのこと。学習を通して、あふれる期待感と見通しをもったのだろうなと想像し、とても微笑ましく、うれしい気持ちになりました。子ども達はこのような体験を繰り返しながら、学ぶことへの意欲を高め、成長していくのだろうな、と思った出来事でした。

Cさん～毎朝、駐車場に停めた車から降りて、お母さんと一緒に玄関まで歩いて登校します。大人からすれば大した距離ではありませんが、まだ体の小さなCさんにとっては、ちょっとした冒険に近い感覚のように思えます。入学当初は、お母さんと手をつないで歩いていました。日を重ねるうち、手を離し一人で歩けるようになりました。傍らで見守るお母さんは、温かな眼差し。「手をはなさない」「目をはなさない」「心をはなさない」は、子育てでよく聞かれる言葉です。朝の小さな一コマですが、大きな成長のドラマがあります。

いろいろなことに気付くこと、できなかったことができるようになること、一人でできることが増えることなどは、本人、保護者、教師にとっての大きな喜びです。

これからもたくさんのご喜びを共有したいものだな、と思います。もっと、もっと大きくなあれ！

